

令和3年度 臨床研究テーマ成果報告書

診療科（部）名：小児歯科
第3期中期目標・中期計画期間中の臨床研究テーマについて該当するものにチェックを入れてください。（塗りつぶし可）
<input type="checkbox"/> 1. 口腔領域における新規組織再生・再建法の開発 <input type="checkbox"/> 2. 高齢者の特性に配慮した口腔疾患の予防法・診断法・治療法の開発 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 顎口腔機能の維持増進に関する研究 <input type="checkbox"/> 4. 歯科医学臨床教育の質保証に関する研究 <input type="checkbox"/> 5. その他
研究期間：2017年11月29日～
研究課題名：乳臼歯歯冠補綴における新規材料の開発を目指した基礎的検討
<p>研究課題の概要及び成果：</p> <p>小児の歯冠修復に用いる既製金属乳歯冠は、優れた物性を有するものの、審美性に劣る。そこで、我々は、う蝕予防に有効なバイオアクティブフィラー（S-PRG フィラー）を含有する新規の GIOMER レジンブロックを用いた乳歯用 CAD/CAM 冠を発案した。</p> <p>乳歯における CAD/CAM 冠に適した支台歯形成の方法と GIOMER レジンブロックの加工法について検討し、CAD/CAM 冠の透過性とマージンラインの適合性について評価した。</p> <p>抜去乳歯を用いて、2種類の支台歯形成（咬合面 0.5mm・隣接面 0.5mm と咬合面 1.0mm・隣接面 0.5mm）を行い、CAD/CAM 冠を作製した。いずれの形成においてもスキャニングしてのモデルデータ化、ミリングバーによる GIOMER レジンブロックの切削加工を行うことが可能であり、CAD/CAM 冠のマージンラインの適合は良好であった。しかし、咬合面 0.5mm・隣接面 0.5mm の形成では CAD/CAM 冠の十分な厚みを確保できなかった。</p> <p>CAD/CAM 冠の強度や色調の透過性を考慮すると、咬合面 1.0mm・隣接面 0.5mm の形成の削除量を基準とすることが適切であることが明らかとなった。</p>
上記概要・成果に関連する図表等
<p>乳歯 → 支台歯形成 → 加工モデルデータ → CAD/CAM冠 → 装着</p>

当該臨床研究が「口の難病プロジェクト」に関連しているか否か下記のBOXのいずれかにチェックを付してください。(塗りつぶし可)

- 関連がある
 ■ 関連はない